

1カ月の日程を終えボランティアスタッフらと別れの握手を交わす福島県の子どもたち 22日午前、那覇空港



また会おうね 必ず

福島の子どもたち、離沖



福島県内で生活する子どもたちと握手をしながらまたの再会を誓っていた。福島市から来た小松来夢君(10) 小学4年 間は「あつという間の1カ月間。沖縄の海はとてもきれいだ。福島に帰ったら家族に沖縄のことをたくさん話したい」と名残惜しうな表情で話した。

間、沖縄で過ごしてもらおうと「東日本大震災被災者支援プロジェクト・つなぐ光」が取り組む「海と空の林間学校 in 沖縄」に参加した小中学生20人が22日、約1カ月の日程を終え福島県に戻った。

那覇空港では、ボランティアスタッフら約10人が見送った。元気に日焼けした子どもたちは、沖縄滞在を満喫した様子で、スタッフに話した。